

議会だより

2017

平成29年 5月1日発行

No.23

満濃南こども園

きいろい帽子にちかう
～交通ルールをまもるよ～

Contents

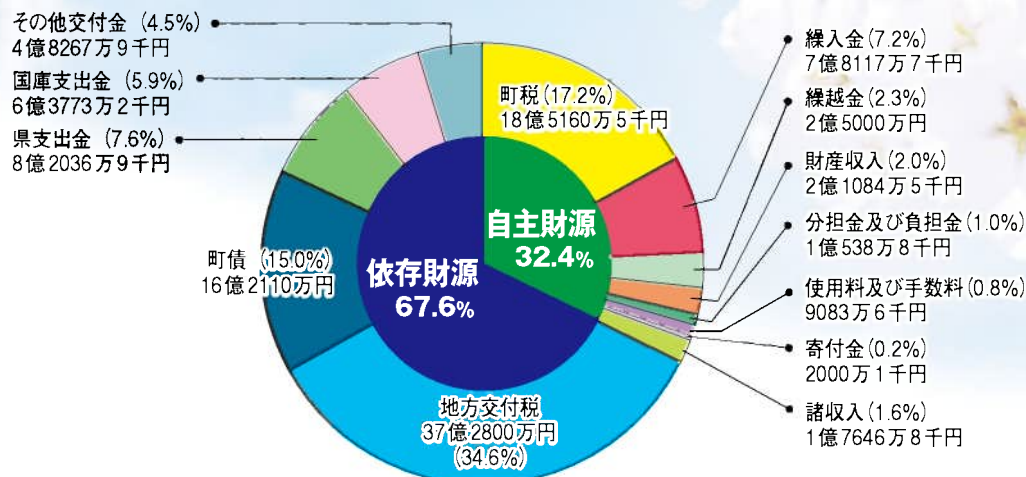
平成29年度当初予算を可決

- ② 29年度当初予算可決
- ④ 当初予算重点施策
- ⑤ 3月定例会
- ⑥ 議案採決結果
- ⑫ 委員会報告

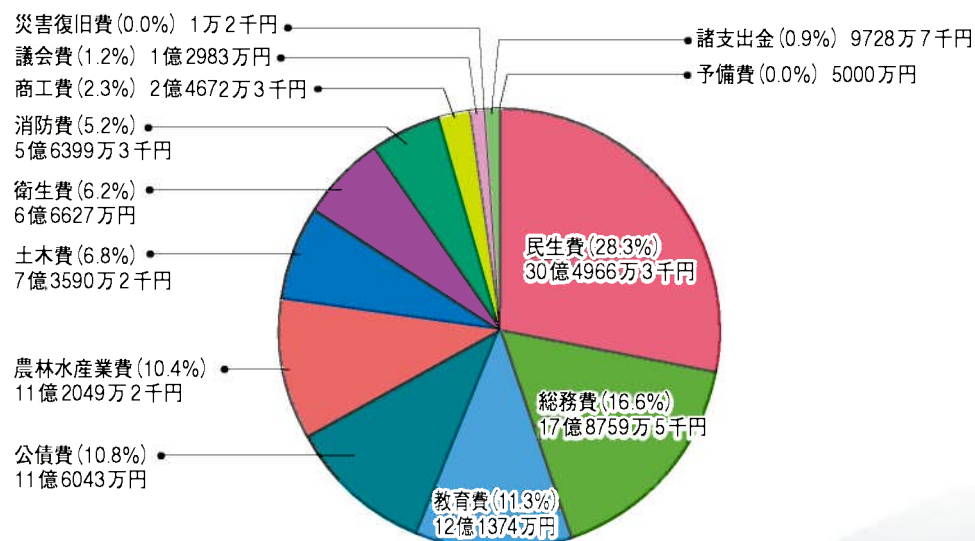
- ⑮ いっぺん来てつか 議会報告会
- ⑰ 10人が町の考えを問う 一般質問
- ⑳ 議会からこんにちは
若き青年指導者として

165億620万円可決

一般会計歳入予算の内訳（入ってくるお金）



一般会計歳出予算の内訳（使いみち）



用語の説明

町 税	町民が納める税金（町民税、固定資産税、軽自動車税、たばこ税等）
繰 入 金	町の貯金を下ろして使うお金 他会計や基金から取り入れる資金
交 付 金 等	消費税やガソリン税などから地方へ配分されるお金
地 方 交 付 税	自治体運営の均衡を保つため、国税（所得税、法人税、酒税など）の一部から配分されるお金
国・県 支 出 金	決まった目的に使うため、その費用の一部または全部が国や県から交付されるお金
町 債	町が大きな事業を行うため借り入れるお金
公 債 費	町債を返済するためのお金
自 主 財 源	町が自前で賄うことができるお金
依 存 財 源	地方交付税や町の借入金、国・県の補助金などに頼るお金

平成29年度予算総額

合併10周年をへて 新たな飛躍のスタート

平成29年第1回3月定例会は、2月27日から3月14日までの16日間で開会。条例の制定及び一部改正、平成28年度補正予算、平成29年度当初予算など31議案を慎重審議の上、賛成多数で可決。今年度も学校教育の充実、生活基盤の整備、農林業の振興など住みやすいまちづくりをめざし新たな躍進の年にします。

一般会計 107億8000万円

(対前年度比3億6000万円増、対前年度比3.5%増)

特別会計 57億2620万円

(対前年度比1億6820万円減、対前年度比2.9%減)

平成29年度当初予算

(単位:円、%)

名 称	平成29年度 当初予算額	平成28年度 当初予算額	比 較	
			増減額	増減率
一般会計	107億8000万	104億2000万	3億6000万	3.5
特別会計	57億2620万	58億9440万	▲1億6820万	▲2.9
国民健康保険特別会計	28億 210万	27億4710万	5500万	2.0
事業勘定	26億9500万	26億7180万	2320万	0.9
直診勘定(歯科)	3280万	470万	2810万	597.9
直診勘定(内科)	7430万	7060万	370万	5.2
後期高齢者医療特別会計	2億5420万	2億4930万	490万	2.0
介護保険特別会計	23億7030万	22億9150万	7880万	3.4
簡易水道特別会計	0(議案第2号参照)	2億7660万	▲2億7660万	▲100
下水道特別会計	2億 650万	2億3340万	▲2690万	▲11.5
農業集落排水特別会計	2830万	3000万	▲170万	▲5.7
浄化槽整備推進事業特別会計	6480万	6650万	▲170万	▲2.6
合 計	165億 620万	163億1440万	1億9180万	1.2

▲減額

ここに
注目!

平成
29年度

当初予算の重点施策

今後の予算執行において十分にチェック機能を果たしていきます。

目的別事業名	●新規事業 ●拡充事業 ●継続事業	予算額(概算)
学校教育の充実	●四条小学校 放課後児童クラブ新築事業	6800万円
	●四条小学校 大規模改修事業等	1億7000万円
次世代育成の支援	●子育て支援室整備事業(かりん健康センター)	3260万円
生活環境の保全	●塵芥収集事業(可燃ごみ週2回収集)	1930万円
生活基盤の整備	●●橋梁・町道長寿命化事業	1億1700万円
	●町道等維持補修事業	1億6500万円
	●多面的機能支払推進交付金事業	6660万円
住環境の整備	●若者住宅取得補助事業(50戸)	5260万円
農林業の振興	●有害鳥獣被害対策事業(いのしし等)	1550万円
	●園芸香川産地構造改革総合対策事業	4760万円
	●香川用水土器川沿岸地区国営 農業用水再編対策推進協議負担金	2億円
	●消防機器整備事業 (仲多度南部消防組合)	6280万円
生活安全対策の充実	●消防屯所整備事業(第6分団吉野 新築)	2200万円
	●地方創生関連事業 (琴南未来会議等)	3800万円
生活環境の充実	●琴南支所周辺整備事業 (支所診療所複合施設)	3億700万円



橋梁の長寿命化へ

平成28年度3月補正予算、平成29年度当初予算・条例の制定等31議案を原案通り可決した。

開催期間 2月27日～3月14日（16日間）

平成29年3月定例会

平成28年度3月補正予算

会 計 名		補 正 額	予算総額
一 般 会 計		▲2億7969万7千円	109億8698万9千円
特 別 会 計		▲9144万1千円	58億9892万5千円
水道事業会計	収益的収入	▲65万8千円	2億9730万3千円
	収益的支出	▲90万5千円	2億9463万1千円

平成28年度 3月補正の主な内容（一般会計）

事 業 名	目的別名	補正予算額
情報通信システム管理費	総務費	▲2670万円
防災対策事業	消防費	▲5560万円

平成28年度 3月補正の主な内容（特別会計）

事 業 名	目的別名	補正予算額
一般被保険者療養給付費	国民健康保険	2840万円
浄化槽施設管理委託料	施設管理費	▲960万円

▲減額

議案の採決結果

賛否の分かれた議案に対して、各議員の議決の結果は下記の通りです。

議 案 名 等		議員名	議席番号		15	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	16	関連ページ
			賛成	反対	議決結果	田岡 秀俊	竹林 昌秀	川西米希子	合田 正夫	三好 郁雄	白川 正樹	関 洋三	白川 年男	白川 皆男	大西 樹	藤田 昌大	松下 一美	三好 勝利	大西 豊	川原 茂行	
平成 29 年第 1 回定例議会（会期：平成 29 年 2 月 27 日～3 月 14 日）																					
議案 第 23 号	平成 29 年度まんのう町一般会計予算（案）	12	1	可	△	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○		P11
決議 第 3 号	まんのう町議会の議員定数を定める条例の一部改正について	5	8	否	△	欠	○	○	×	○	○	×	×	×	×	×	×	○	×		P11

※可－可決 否－否決 ○賛成 ×－反対 欠－欠席
 ※議長は可否同数の場合にのみ表決権を有します。(議長 議席番号15番)



上水道事業に統一される簡易水道

改正した。

簡易水道特別会計の廃止に伴い

原案可決

特別会計条例の一部改正

議案第2号

即決案件

3月定例会

平成29年

議案第3号

町工場立地の条例の制定

上位法である工場立地法の対象となる工場は、ある一定の基準以上であり、平成29年4月1日の改正に伴い、事務の権限が都道府県から町村に移譲となった。

原案可決

議案第5号

企業立地の促進等による地域における産業集積の形成及び活性化に関する条例の廃止

新たな条例の制定により廃止した。

原案可決

議案第7号

過疎地域における町税の特別措置条例の一部改正

効力を29年3月31日から33年3月31日に延長した。

原案可決

議案第15号

香川県中部広域競艇事業組合規約の一部変更

「丸亀市競艇事業局内」を「丸亀市ボートレース事業局内」と語句を変更した。

原案可決

諮問第1号

人権擁護委員候補者の推薦

中通

○黒川 永二郎 氏

同意

発委即決案件

発委第1号

議会の委任による町長専決処分事項の指定(左記を議会から委任)

・町がその当事者である審査請求、その他の不服申し立て、訴えの提起、和解及び調停に関するもので、法に定める価格を超えないもの。

・町の義務に属する1件の金額が法の定めによる価格を超えないものの和解、調停及び損害賠償額の決定。

・法令の改正または廃止に伴い町判断の余地がないときの条例の改正。

原案可決

発議即決案件

発議第2号

参議院選挙における合区解消を求める意見書案

意見書抜粋

憲政史上初の合区による参議院選挙が実施されたが、広範囲にわたる選挙活動の困難さ、有権者が直接候補者の政見に接する機会の減少や投票率の低下など、多くの問題点が明らかになった。人口によって単純に区割りをする決定合区は、人口の少ない地方の切り捨てにつながり、地方創生に逆行するものである。地方の意見を十分国政に反映できる地方創生にふさわしい仕組みを構築すべきであり、合区を解消し、都道府県単位による代表が国政に参加することが可能な選挙制度となるよう、強く要望する。

提出者 大西 豊
賛成者 川原茂行
賛成者 三好勝利

原案可決

付託案件

総務常任委員会付託

執行部に必要書類の提出と詳細な説明を求め慎重に審査を行った。

議案第1号

一般職の任期付職員の採用等に関する条例の制定

任期を定めた職員を採用するため制定した。

●主な質疑と答弁

【委員】勤務条件はどうなっているのか。

【執行部】有給休暇等待遇面は一般職員同様の勤務条件である。

【委員】専門性を持った職員を採用する予定はあるのか。

【執行部】今のところ予定はない。これから研究して、経験、業績を評価して選考したい。

原案可決

議案第4号

行政放送告知施設の設置及び管理に関する条例の一部改正

更なる普及を図るため、原則設置無料とした。

●主な質疑と答弁

【委員】町の情報等を多くの町民に知らせるため、さらに改善すべきではないか。



町行政放送施設 暮らしに役立つ情報発信

【執行部】若者定住の補助金を貰っているもの、営業等事務所は従来通り負担金を徴収したい。1月末の設置件数は7113件で95.6%である。

【委員】中讃テレビの加入状況はどうなっているか。

【執行部】加入は半数に満たない状況である。魅力ある番組編成について要望していきたい。

原案可決

議案第6号

税条例等の一部改正

固定資産税の前納報奨金を30年4月1日より廃止するとした。

●主な質疑と答弁

【委員】周知の方法は。

【執行部】町広報や告知放送で行う。

【委員】徴収率に差はでないか。

【執行部】近隣市町の状況をみると率は上がっているところもあり影響はないと考える。

原案可決

議案第14号

丸亀市との定住自立圏形成協定の
一部改正

丸亀市とまんのう町との「定住自立圏の形成に関する協定」の一部を変更した。

原案可決

議案第16号

平成28年度一般会計補正予算
(案) 第3号

年度末の精査による減額が主である。

主な項目

- ・庁内LANシステム保守点検が当初の予想を下回ったため減額。
- ・仲南支所周辺整備工事費は工事内容変更による減額。
- ・固定資産評価システム業務で契約の変更による減額。
- ・地域木材利用住宅等補助事業で町産材利用の新築・増築・改築の実績が2件のため減額。
- ・南部消防組合のはしご車の購入の決定、ハザードマップや地域継続計画等の事業費の決定による減額。

※庁内LANシステムとは

ネットワークを利用した情報の共有化・情報交換等を行うためのコンピュータシステム。

原案可決



新しくなる進入路（仲南支所）

議案第23号

平成29年度一般会計予算(案)

●執行部から予算(案)の説明

- ・ゴルフ場利用税交付金は29年度も継続。
- ・新規に個人情報に関する取扱業務委託料を計上。



防犯灯がまもる地域の安全（町内すべてLED化）

- ・集落支援員を1名追加。
- ・若者住宅取得補助事業として50件を目標。
- ・福祉タクシーの運用でチケットが月2枚から年間24枚に変わったため増額。

- ・琴南支所改修工事、仲南支所周辺整備事業を計上。

- ・琴南地区の活性化、旧琴南中学校の利活用をことなみ未来会議事業として計上。

- ・そば、ひまわりの商品開発やPRビデオ等を作成する「ものづくりプロジェクト事業」の予算を計上。

他に多数の予算説明があり採決の結果全会一致で承認。

●主な質疑と答弁

【委員】 免許返納した高齢者の交通手段の充実を。

【執行部】 免許返納がスムーズにできる政策を考える。

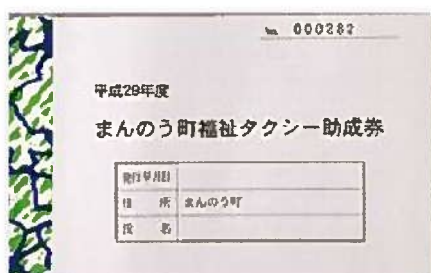
【委員】 防犯灯のLED化の進捗状況は。

【執行部】 既に2年前に完了して100%である。

【委員】 ことなみ未来会議は何年で終える計画か。

【執行部】 「自分たちで出来る事や正しいこう」をテーマに3年で自立するように進めている。

原案可決



年間24枚で便利に

建設経済常任委員会付託

執行部に必要書類の提出と詳細な説明を求め慎重に審査を行った。

議案第8号

事業分担金徴収条例の一部改正

農地農業用施設災害復旧事業国庫補助事業うち、ため池は防災対策の観点から受益者分担金を5%以内に軽減した。農業用施設災害復旧、町単独補助事業の区分を設け20万円以上40万円未満の事業は町単独事業とした。

●主な質疑と答弁

【委員】 一つの災害から対象となるのか。

【執行部】 受益者が2戸以上の施設で現年災害が対象。

原案可決

議案第9号

道路占用料条例一部改正

道路上や上空等に一定の施設等を設置した場合、「道路占用」といい、道路管理者は占用料を徴収す

ることができる。町も国の基準を準用し見直した。

原案可決



町所有地に立つ道路占作物（電柱）

議案第10号

町水道事業の設置等に関する条例の一部改正

簡易水道事業の廃止に伴い、水道事業の設置に関する条例に「給水人口・給水区域・一日最大給水量等」簡易水道部分を加えた。

原案可決

議案第11号

町水道布設工事監督者の配置及び資格基準並びに水道技術者の資格基準に関する条例の一部改正

簡易水道事業廃止に伴い水道布設工事監督者・水道技術管理者の配置基準及び資格基準を改正した。（町では2名が有資格者。）

原案可決

議案第12号

町簡易水道設置条例等の廃止

簡易水道に係る条例を一括して廃止し、上水道事業の条例に帰属させた。

原案可決

議案第20号

平成28年度町下水道特別会計補正予算(案)第2号

議案第22号

平成28年度町水道事業会計補正予算(案)第1号

議案20号・議案22号それぞれ年度末精査による増額・減額補正であることを確認。

●主な質疑と答弁

【委員】 水道事業会計で、新規加入金の増があるが、若者住宅取得補助金の効果か。

【執行部】 四条・高篠地区での新規加入が増えている。

議案第27号

平成29年度当初町下水道特別会計予算(案)

原案可決

議案第28号

平成29年度町農業集落排水特別会計予算(案)

原案可決

議案第30号

平成29年度町水道事業会計予算(案)

満濃地区上水道と満濃、琴南、仲南地区の簡易水道を同一会計とした。

原案可決

教育民生常任委員会付託

執行部に必要書類の提出と詳細な説明を求め慎重に審査を行った。

議案第13号

民具展示室条例の制定

郷土の民具等民俗資料を収集、保管、展示するために旧仲南北小学校の教室を展示室として設け条例を制定した。

●主な質疑と答弁

【委員】職員の配置体制はどうなるのか。

【執行部】平日は予約制で文化財室



世代を超えて伝える 先人の知恵

の職員で、休日は文化財保護協会に依頼。職員は常駐しない。

議案第17号

平成28年度国民健康保険特別会計補正予算(案)第3号



皆で支える保険制度

原案可決

国庫支出金、国民健康保険税額等の確定による減額。内科及び歯科の直営診療施設では診療収入の減少による減額。

原案可決

議案第18号

平成28年度後期高齢者医療特別会計補正予算(案)第1号

平成27年度からの剰余金の繰越金に計上、繰入金を減額。

原案可決

議案第19号

平成28年度介護保険特別会計補正予算(案)第2号

満濃荘ショートステイ40床の増設のため増額。

●主な質疑と答弁

【委員】増設については当初から分かっていたのではないか。

【執行部】額は確定してなかった。

原案可決

議案第21号

平成28年度浄化槽整備推進事業特別会計補正予算(案)第1号

修繕、清掃委託が予定より少なかったため減額。

原案可決

議案第24号

平成29年度国民健康保険特別会計予算(案)

造田診療所の内科、歯科の琴南支所への統合に伴う、医療機器等の更新等。

原案可決

議案第25号

平成29年度後期高齢者医療特別会計予算(案)

原案可決

議案第26号

平成29年度介護保険特別会計予算(案)

徘徊高齢者、認知症患者に対しての施策。町事業となる支援1、支援2の方の訪問介護、通所介護等。

●主な質疑と答弁

【委員】介護保険事業の職員体制はどうなるのか。

【執行部】ケアプラン担当者を臨時で1名採用。多少の配置換えで、現在の職員体制で維持したい。

原案可決

議案第29号

平成29年度浄化槽整備推進事業特別会計予算(案)

原案可決

本会議最終日

発議第1号

地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書(案)

◇意見書 抜粋

住民の代表機関である地方議会の果たすべき役割と責任が格段と重くなっている。地方議会議員の年金制度を時代に相応しいものにするのが、議員を志す新たな人材確保につながっていくと考える。国民の幅広い政治参加や地方議会における人材確保の観点から、地方議会議員の厚生年金制度加入のための法整備を早急に実現するよう強く要望する

提出者 藤田昌大
賛成者 大西 豊
賛成者 川原茂行
賛成者 三好勝利

※全会一致否決のため国に意見書提出しない。

本会議最終日の討論

議案第23号

平成29年度町一般会計予算(案)

討論

反対

【藤田昌大議員】委員長報告に質疑をしたが明確な回答が得られなかった。重要な委員会の審議が十分と言わざるを得ない。したがって反対する。

賛成

【松下一美議員】平成29年度の一般会計予算については、委員会の中でも十分に慎重審議を行っている。賛成する。

原案可決

発議第3号

まんのう町議会の議員の定数を定める条例の一部改正

◇提案理由 抜粋

町民の中に「議員が多すぎる、減らすべきだ」と言う声をよく聞きます。これは町民が「議会は町民の期待にこたえていない」という批判の裏返しです。私たち議員が真摯に反省し、努力をする必要が

あります。単純に定数を削減することでは解決できる問題ではないが、少子化、人口減少、また厳しい財政状況等を背景に行政も人員削減に努力しています。行政改革を率先して行う議員として議会

自らも身を削る覚悟がいます。人口同等規模の町村の議員数等を総合的に判断して現行より2人減の14人と定める条例改正案を提出します。

提出者 白川正樹

賛成者 合田正夫

賛成者 関 洋三

討論

反対

【藤田昌大議員】従来より議員定数については、民主主義の観点から定数減は適当でない。

現在の人口面積から勘案して現状が適切であると考えます。

【川原茂行議員】住民の意見を町政に反映させるなど住民の付託に答えなければいけない。

もう1点は、執行部の間違い、暴走を止める義務と責任があるため、現在の定数は必要である。よって反対する。

【三好勝利議員】本町は、香川県で3番目に広大な面積を有する町である。山間部も多く地域によって住民からの要望は異なる。

人口の多い中心部だけの意見を聞くのではなく、広く住民の意見を聞くためには、現在の議員数は必要である。よって反対する。

賛成

【合田正夫議員】今回の定数削減については全員協議会の中で、各議員の考えを聞くなどの対応は行われた。私は賛成する。

【関 洋三議員】町が合併したことにより、今まで国から貰っていた10億円が段階的に減らされて3年後には0円になる。厳しい財政運営を余儀なくされるのを想定し、議会の対応としては、議会の年間経費1億3千万円の一割削減を目指す為に定数削減もやむなし、と考える。よって賛成する。

【川西米希子議員】真に必要なのは、議会と議員、個々の質を高めることであり、定数を削減し町民のみならず、より厳しい選択を受けることが有効に働くと考えます。よって賛成する。

原案否決

教育民生常任委員会

●四条小学校調理機器 ●琴南支所改修 ●生活困窮者自立支援 ●新生児聴覚検査 ●教育支援 ●民具展示室

四条小学校調理機器

より慎重に現場の声を

【委員】 四条小学校大規模改修に伴い交換した調理機器のガス回転釜が、従来使用していたものより小さく取り替えとなったが、費用負担はどこがするのか。

【学校教育課長】 町の負担はなく、設計業者で対応することになっている。

琴南支所改修

一体的に修繕も



地域住民の利便性の向上

【委員】 琴南支所改修工事時には、外壁も一体的に修繕するべきではないか。また、建物内で他に修繕箇所はないのか。

【琴南支所長】 外壁については、調査がこれからである。調査による修繕箇所の特定後に追加工事として対応したい。3階で雨もりがある。今回の工事で合わせて修繕する。

生活困窮者自立支援

施策強化の効果は

【委員】 生活困窮者自立支援法が施行されて、町の施策も強化されているが、生活保護を脱した世帯はあるのか。

【福祉保健課長】 脱するケースはあまりない。転出や年金受給により収入ができ、脱したケースはある。

新生児聴覚検査

受診率100%を

【委員】 平成29年度から、新生児の聴覚検査に取り組むというところだが、受診できる医療機関、異常があった時の支援体制、受診にむけての普及啓発はどのようになっているのか。

【健康増進課長】 母子手帳交付の時にしっかりと検査を受けてもらうために、医療機関の情報提供や啓発をおこなっていききたい。



輝く笑顔をまもるために

教育支援

体制の充実に期待

【委員】 平成29年より教育支援の充実を図るため、教育委員会組織内に教育指導室を整備したいとのことだが、職員体制はどのように考えているのか。

【教育長】 県から派遣されている主幹や町の指導主事を配置する。教育研究所適応センター、早期支援センター「たち」等の機関を統括した室として整備を図っていききたい。

民具展示（旧仲南北小学校）
活発な利用を

【委員】 児童、生徒の利用開始は、いつになるのか。展示室の職員体制は。

【生涯学習課長】 改修工事は、今年1月29日に完了している。現在、展示室業務を3月末を目処におこなっている。オープン後は5月の連休明けを目指している。学校それぞれで見学の計画を立ててくれればいいと思う。学校へは、民具展示室の利用案内チラシを配布する予定である。平日は予約制で文化財室で対応。土曜、日曜日は文化財保護協会に協力をお願いする予定である。



生まれかわる教室（体験型施設）

総務常任委員会

●塩入温泉 ●ハザードマップ ●危機管理 ●そば栽培事業 ●仲南支所周辺整備

塩入温泉

くわしい点検の実施を

【委員】給水管の破損は、施設全体の老朽化が進んでいるからではないのか。今後の管理についてはどのように考えているのか。

【企画観光課長】常に設備等の点検は行っている。今回の破損は想定外の箇所だったため、改めて点検の指示を出している。

ハザードマップ

住民からの情報収集を

【委員】土砂災害ハザードマップは、コンサルタントに任せたりでよいのか。

【総務課長】説明会で住民の意見を聞いたり、ワークショップの時に資料に載っていない場所での過去の災害を聞き取り作成するようにしている。

住民の要望等を取り集めて、出前講座等も開いていき



危機管理

被害を最小限に くい止めるため

【委員】BCP(災害などリスク発生時の業務継続計画)はいつ頃できるのか。基本的なところだけでも早めに示せないか。

【総務課長】現在、庁内の研修を実施している。計画を示すことができるのは、平成29年度になる。



大規模災害に備える

そば栽培事業(琴南地区)

伝統のそばで 地域の良さを発信

【委員】そば栽培事業の町内、町外の参加者の内訳はどうなっているのか。

【琴南支所長】平成28年度は、42名の参加があり、高松市、丸亀市など、町外の参加者の方が多い。

仲南支所周辺整備

進入路の安全確保を

【委員】現在の支所への進入路、中央の道路を閉鎖するのはいつ頃となるのか。

【仲南支所長】西側進入路への入口の安全確保を優先したいので、平成30年になる予定である。



閉鎖予定の進入路

建設経済常任委員会

●老朽化した危険空き家対策 ●全国育樹祭 ●水道事業

現場視察

※2月14日「町道杉の上秀石線道路改良工事」「水道課仲南・琴南Web(ウェブ)遠方監視警報システム」「岡の山地区急傾斜地崩壊防止対策事業」「明神橋橋梁長寿命化修繕工事」「地籍調査現地境界杭の復元作業」「香川県満濃森林公園」の現場視察をおこなった。

老朽化した危険空き家対策
撤去支援事業を

【委員】平成29年度予算における空き家対策事業について問う。

【建設土地改良課長】県が危険な空き家において撤去費の一部補助を行う制度がある。町においても本年度から取り組む。1戸あたり200万円を上限とし、費用負担割合は国が2/5、県が1/5、町が1/5、所有者が1/5、となっている。

水道事業

水道課にて遠方集中監視システム導入

【委員】平成28年度においては仲南・琴南地区にて漏水など発生し、有収率が下がっているが、対策は。

【水道課長】新遠隔集中システムを導入し、事故の防止、安定した飲料水の供給に努めたい。



効率化された遠隔集中システム

全国育樹祭

新年度に準備室を

【委員】平成29年度本町にとってのビッグイベント・育樹祭について町の対応は。

【町長】本年度11月19日開催される全国育樹祭に向けて4月1日より準備室を立ち上げる。県の計画に沿って啓発・歓迎事業・環境整備を進めたい。



もりあげよう 育樹祭

議会広報をより読みやすく



香川県広報発行町議会連絡協議会は今回から多度津町が加わり全県下9町で東みよし町に研修に行きました。当日は本町3名の委員を含め県下で50名の参加がありました。

住民の知る権利、議会の知らせる義務を踏まえ、編集理念として、読者目線で「ありのままに・わかりやすく・住民とともに」を目標することや、委員会の開催状況など研修してきました。

議会の活動や、町のお金がどのように使われているかを知ってもらうための一つの手段であるため、より多くの住民に理解してもらえるように、

①読んでみたくなる紙面にする。②わかりやすい

表現、レイアウトにする。

③議会だよりにしかない住民が知りたい情報を載せる。等、今回の研修をこれらの「議会だより」の編集に活かしたいと思っています。

公共交通、指定管理



横山市長より、「7つの町が対等合併した三豊市では、多極分散型田園都市、アンチコンパクトシティを目指し、市民の皆様へ積極的に地域内分権を勧め、旧町ごとに設立した「町づくり推進隊」は、その一つのモデルです。地方分権は地域内分権をもって完結します。三豊市は市民や市民団体にどんどん分権していきます。」との挨拶がありました。

続いて、担当部局より、公共交通では「先手の福祉」の一環として、平成19年7月から5路線でコミュニティバスの運行を開始し、現在は12路線を14台で運行。人口の減少・運転免許を持たない人の減少により、利用者数は平成22年以降右肩下がりとなり、新規に車内広告を募集したり、車両の小型化を図る等の抜本的な再構築が必要となっています。

今年の4月からは、善通寺市へ通学する学生や通院する人が多いため、試験運行を実施する予定であり、双方の議会の同意が必要となっています。指定管理では、公の施設の設置目的を効果的に達成するため、18施設を指定管理とし、このうち6施設が第三セクター方式で運営されています。との説明がありました。

この後、三豊市文化会館「マリヌウェーブ」を見学し、視察研修を終えました。

視察で得たきめ細やかな事業分析手法、指定管理者に対するモニタリング制導入、総務部施設管理課による改善指示書作成等、参考になる点があり、今後の委員会活動に活かしていきます。

第11回議会報告会 (意見交換会)

さらにより多くの皆さんとの意見交換を目的に、今回は曜日、時間、議員の班編成を変更しました。町の将来や課題について、また議会へのご意見などお聞かせください。どの会場でも自由にご参加ください。



町内 4 会場で開催します。

	1 日目	2 日目
日 時	5月13日 (土) 19時～21時	5月14日 (日) 13時30分～15時30分
場 所	仲 南 公 民 館 A班 満濃農改センター B班	琴南公民館 B班 長炭なごみ館 A班

当日議会だより 23 号をご持参してください。

議員は2班に分かれて伺います。

A班

◎川原 茂行 合田 正夫
 松下 一美 川西米希子
 白川 皆男 竹林 昌秀
 関 洋三

議長はどちらかに出席します
 (田岡 秀俊)

B班

◎大西 豊 白川 年男
 三好 勝利 白川 正樹
 藤田 昌大 三好 郁雄
 大西 樹

議長はどちらかに出席します
 (田岡 秀俊)

いっぺん来てつか

もっと身近な
議会に！



議員名	質問内容	関連ページ
竹林 昌秀	・選挙の投票率の推移をどう受け止めて、対策を講じるのか ・住宅建築促進策の実績評価を求めて、宅地供給の施策化を求める ・教育研究所、教育支援丘、早期支援教育センター、適応支援センター、少年育成センターの活動内容とその実績の説明を求める。また、課題と展望を問う	P18
川西米希子	・食品ロス削減の取組みについて（町として） ・子どもの貧困対策の取組みについて	P18
松下 一美	・災害時の飲料水の確保を問う ・防災対策にドローンを導入しては	P19
関 洋三	・自主防災組織の現状について ・土地開発について ・文化財保護協会の存在について	P19
大西 豊	・第41回全国育樹祭の取組みについて ・公の施設である国営讃岐まんのう公園及び香川県満濃池森林公園等の有効活用について	P20
川原 茂行	・農林業振興について	P20
合田 正夫	・イノシシ対策 ・土地利用計画の今後について（農業振興地域等）	P21
三好 勝利	・免許返納者に対する今後の実なる取組について ・通学路の野犬対策について ・四条交差点の改良について	P21
大西 樹	・耕作放棄地対策について	P22
白川 正樹	・国際交流について ・防犯カメラの設置について ・GPSのレンタルについて	P22

議員
↓
町長・教育長

議員が町の考えを問う

3月定例会では、10人の議員が一般質問を行いました。
議員情報等は、まんのう町ホームページ（議会情報）に掲載していますので、ご覧ください。

そうだ、議会へ行ってみよう！

町議会は、どなたでも傍聴できます。
会議日程は、ホームページ、
告知放送でお知らせしています。

次回の定例会は
6月に
開催予定です。

詳しくは議会事務局へ ☎0877-73-0109



議会の傍聴席（後方）

まんのう町 HP 議会情報 <http://www.town.manno.lg.jp/gikai/>

投票率の低下への対策

問 どう受け止める

答 努力する

竹林 選挙の投票率の推移をどう受け止めるのか。対策を問う。

町長 前回の町議選では、全体で67%、20代前半は34%、その後半は40%、60代前半は68%であり、若年層の低さが明らかだ。参加したいまちづくりを行うことが重要である。

竹林 候補者の力量不足もあるが、合併後に定数が減って、身近な人がいないことも要因だろう。

選挙で不祥事を起こせば、議員の信用はさらに低下する。候補者だけでは違反防止は難しい。住民に公職選挙法の中身を浸透させる啓発に努力する。

町長 種々の会合を通じて努力する。



宅地供給の施策化

問 土地開発公社の駆使を

答 民間進出の環境を整える

竹林 住宅建設促進策の定住促進への評価を求めて、宅地供給の施策化を求める。

町長 年間40から50軒前後建てている。保育園整備、保育料軽減、医療費補填が効果があると回答を得ている。

竹林 空き家を買取り、更地にしたり、ミニ開発して、宅地供給できぬか。土地開発公社を駆使したい。

町長 十分な効果がある。民間の進出する環境を整える。

竹林 次期の総合計画に、宅地化を盛り込む土地利用基本計画を策定できぬか。

町長 現況に沿った目標を盛り込む。



竹林 昌秀 議員

食品ロス

問 「食品ロス」削減の普及、啓発を

答 30・10運動は早速、取り組めると考える

川西 現在、日本全体でまだ食べられるのに捨てられている「食品ロス」は年間632万トンと言われ問題となっている。フードバンク活動への支援、食育ロス削減を入れた食育、会食等での食べ残しを少なくしようとする運動（30・10運動）に取り組むお考えは。



食を守りつづけるため、私たちにできることは

町長 全ての町民の方に「食品ロス」の認知度を高めていきたい。食育において「もったいないの精神」も伝承できるようにしたい。



川西 米希子 議員

子どもの貧困

問 どの子にも希望あふれる将来を

答 総合的に推進する責務があると考えている

川西 文科省の調べでも、経済的援助を受ける家庭の子どもの数が、6人に1人となっている。生まれ育った環境によって子どもの将来が左右されることのないよう多角的支援が必要と考える。

町長 近年、子どもの貧困の問題は深刻さを増していると考えている。町としては、平成26年に施行された「子どもの貧困対策の推進に関する法律」に基づき国県などの関係機関と連携し対策を推進する。

大規模災害

問 浄水装置で飲料水の確保を

答 浄水機で対応したい



松下 一美 議員

松下 災害時の飲料水の確保を問う。大災害時に備え非常食、飲料水等の備蓄が重要。南海トラフ等の巨大地震において、断水も予想される。水は1人1日3ℓは必要とされており、綾川町においても浄水装置が導入されている。また丸亀市においても各コミュニティセンターに浄水機18台が設置され、雨水を始めプール等の水が完全に浄化され1000人程の避難者に対応できる。重量も65kgで楽に運搬ができ、時間当り2000ℓの処理能力がある。本町においても早期に導入すべきでは。

町長 非常時に4500食・飲用水は約4700ℓ備蓄している。避難者256名程の3日分である。緊急時には満濃中学校に設置の浄水機で対応していきたい。

等に備えドローンにより状況把握がされている。植え込みに倒れている人からSOSが発信され5名でも発見するのに36分程かかっていたが、カメラ、GPSを搭載のドローンでは3分程度で発見されたとの報道もあった。本町には土器川を始め急峻な河川が多いため、災害時に被害状況が正確に把握できるドローンが非常に有効と思われる。早期の導入を計るべきではないか。

町長 大災害時には情報収集や早急な支援体制が求められ、ドローンでの情報収集が有効であり、検討する。



防災対策にドローンの活用
映像でいち早く情報収集、情報発信

防災対策
問 ドローンの導入を
答 情報収集に有効、検討する

松下 岐阜県関市消防では水難事故

自主防災

問 組織結成の進捗は

答 伸び悩みである



関 洋三 議員

関 平成24年度からの取り組みであるが、その成果と対策は如何に。

町長 対応策として、連合自治会単位の組織設置の推進や、防災専門知識を有する防災アドバイザーを任用して、地域防災の協力支援に努めていく。

土地開発

問 無償提供土地の対応は

答 簡単にはもらえない

関 無償で宅地を提供したい人に対する町の基本姿勢は如何に。

町長 政策上、その土地に明確な利用用途が見込まれる場合に限り、受領をするようにしている。

文化財保護協会

問 会員を増やす方策は

答 協会誌配布の支援を行う

関 会員数を把握し、少しでも増



モザイク玉（安造田東三号墳出土）
—先人が残した貴重な遺産—

やすべき考えは如何に。
教育長 会員数は464名で世帯数に対する割合は約6パーセントである。各種会合において協会の存在を周知していく。

全国育樹祭11月19日決定

問 第41回全国育樹祭の
取組みへの考えは

答 花いっぱい事業に取り組む



大西 豊 議員

大西 平成29年秋に、まんのう町で開かれる「第41回全国育樹祭」の開催日が11月19日に決まり、県は2月6日、県庁本館1階でカウントダウンセレモニーを行った。浜田知事は「開催に向けて、機運を盛り上げた」とあいさつ。県産ヒノキで作ったカウントダウンボードのスイッチを押すと、「開催まで286日」と示された。また育樹祭のシンボルマークの愛称が「みどりひろ丸」に決まったと発表があった。

この育樹祭が、まんのう町を全国に発信する絶好の機会であると捉え、どの様に取り組んでいくのか。昨年の議会報告会においても指摘、町民が参加しやすい町独自の手立てを考えるべきとの意見があったが、町として積極的に取り組む考えはあるか。

町長

まんのう町の取組みは、育樹祭を啓発すること、県内外のお客さんに自然豊かな素晴らしい町を知っ

ていたこと。町内では「花いっぱい事業」、小中学校、こども園13施設と公民館7か所で900のプランターに花を咲かせ、またノボリ等を作成し啓発する。5月20日には「ぐるりウォーク」と「自然観察ウォーク」、育樹祭式典でのアトラクションでは、佐文綾子踊り、讃岐まんのう太鼓、太鼓台が出演予定である。



第39回全国植樹祭

耕作放棄地

問 新規就農者に
意欲の持てる援助を

答 国に一層の支援強化を要望する



川原 茂行 議員

川原 何とかしなければ農業意欲が衰退し、貸し手があっても、借り手がない耕作放棄地が増えている。

農業に対しての意気込みがあるなら本年の施政方針の中に組み込まれていないのは何故か。町長の意見は、

農業は先行きが暗く見えない、と聞こえる。本町の財源、国の財源が圧迫している今、自主財源を求めなければいけない。農業立町として、新規就農者へのさらなる援助はできないか。

町長

今後ますます高齢化が進み、農業者が減少する中、数少ない若者が、職業として、農業を選択するには、生計が立てられる農業でなければならぬ。

新規就農者へのアンケートでは、農業所得だけで生計が成り立つ人は4分の1以下であり、短期間で生計費を賄える農業所得を確保するのは難しい。農業に魅力を感じ、就農し

ようとするとする人もいるが、離農者の数に遠く及ばない状況である。新たな就農希望者をいかに発掘するかが今後の課題であると考えている。



害獣、害虫、雑草等は、周辺の農地にも影響



増え続けるイノシシ

イノシシ対策

問 公共施設で解体処理ができないか

答 周辺住民の十分な理解を得る必要がある

合田 捕獲数は昨年より大幅に増加している。使用していない校舎などで鳥獣の調理加工や保存ができる施設を造ることが必要ではないか。

町長 昨年一年間の捕獲数は、補助金支出したもので257頭、本年度は、2月15日現在で641頭である。

しかし、公共施設で鳥獣の肉を扱うとなると、周辺住民の理解が必要。これが、自治体の所有施設となると非常に困難である。個体処理についても様々な方法について十分な調査検討をしていきたい。



合田 正夫 議員

土地利用

問 住民の要望に沿った見直しを

答 県と協議している

合田 農振除外の見直しや、山林、農地、住宅地の利用の見直しはできないのか。今後の土地利用計画についての考えは。

町長 農振法により今は、農振除外はできない。現在、最善の方法を選択すべく、情報収集をしながら、県と協議している。後世に憂いを遺すことがないよう確実に、迅速に進めていく。

免許返納

問 更なる取組みを

答 議員のアイデアも含めて検討

三好 免許返納者に対する今後の更なる取組みについて問う。

町長 実績としては、平成29年2月までに97名の方が支援事業を利用している。本町の免許返納者に対する今後の取組みについては、拡充についての指摘もあり、免許返納された方だけでなく、同居している配偶者で運転免許証を持っていない方にも、同様に1年間のデマンドタクシー無料共通バス券を平成29年4月1日から交付するよう変更を予定している。また、免許返納とは別だが、福祉タクシー券事業についても利用方法の改善を行う予定としている。

なお、提案していただいた運転免許を町内限定とした運転免許証の代わりとなる証明書の発行や制限速度を40kmまでとしたシニア免許制度等、新たな制度を申請するというようなアイデアを含め、免許証自主返納支援事業をより一層充実していくような施策が講じられないか、引き続き検討していきたい。

通学路

問 野犬対策を

答 県中讃保健福祉事務所と連携し対応

三好 通学路の安全対策について問う。

町長 通報があった場合は、野犬の捕獲を所管している香川県中讃保健福祉事務所と連携をとり、現場の確認や捕獲につき対応している。しかし、連絡を受けて現場に向かっても、野犬は一ヶ所にとどまっておらず、即捕獲ということとはなかなかできない。そうした場合は、中讃保健福祉事務所に定期的なパトロールの実施を依頼し、パトロールの中で、網や捕獲器具等を用いて捕獲してもらっている。町内のこども園、小・中学校においては、野犬を見かけたなどの情報があった場合、子どもには登下校の時に気を付けるよう注意し、保護者にはメール配信などにより早く情報を提供して、注意を呼びかけているところである。



三好 勝利 議員

耕作放棄地対策

問 対策には多くの問題がある

答 積極的に支援したい

大西 町耕作放棄地対策は、全国的な問題となっており、少子高齢化の進むまんのう町でも加速している。特に過疎化の進む琴南地区では一刻も許されない状況である。耕作放棄地対策の一つとして、琴南地区の島ヶ峰では荒廃畑を活用し、観光資源としてソバ栽培の広大化を目指している。しかしながら、農業法人の誘致やその対策としての道路整備等数多くの問題があるが、町の方針は？

目指す取組みに対し、積極的に支援したい。



大西 樹 議員



ソバの花（島ヶ峰）



町長 現在、荒廃の度合いが顕著な耕作放棄地の集中している琴南地区において、山間地域の荒廃畑を活用したそばの生産から販売までの6次産業化を行い、特産商品化に取り組んでいる。しかし、観光振興も兼ねることによる入込客の増加や、将来にわたる作付面積拡大による農機具の大型化が避けて通れないことから、耕作条件の改善方法を検討の必要があり、町として荒廃地の再耕地化を

国際交流

問 親日的な台湾との国際交流を

答 模索中の段階である

白川 どの地域と又結んだあとの交流は何を目的に結ぶのか。

町長 どのような手法で交流を図るかを模索している段階である。まずは6月に国立屏東大学の学生3名が町に数日間滞在する予定である。学生との交流を契機として交流を繰り返しつつ町民レベルまで広げるか、他の地区へ変更するか、他の手法を検討するかは現時点で不確定である。



白川 正樹 議員

防犯対策

問 公共施設に防犯カメラを

答 総合的に判断する

白川 防犯カメラは地域の防犯対策等への活用が期待できる。付けていることで犯罪を抑止出来、安心できる環境づくりができるので設置を。

町長 庁舎等の設置は犯罪防止や発生した場合の事件解決に有効である。しかし来庁した方には無断で撮影するため、プライバシーが侵害される。香川県の防犯カメラの設置及び運用

認知症対策

問 GPS発信機のレンタルを

答 実施している

白川 認知症を患ったことで徘徊をし、事故や事件に巻き込まれてしまうおそれがある。家族の安心のため、GPS発信機のレンタルを。

町長 徘徊高齢者を早期に見出し、保護する事業を実施している。制度の住民への周知に努める。



安心安全のために

あなたも議会を傍聴してみませんか！

次回定例会は6月上旬からの予定です

会議の当日、本庁4階にて、傍聴人受付簿にご記入いただき、傍聴席入口よりご入場ください。



男女共同参画推進の一環として「女性議会」の開催



春霞に映える 長谷のしだれ桜(琴南地区)



舞台上でひと踊り



おおきくなってね

取材の足跡

町民のみなさん、取材にご協力ありがとうございます。





収穫まじかのブロッコリー



まんのう町四條 薄木数行さん 若き青年指導者として

次世代をになう専業農家「薄木数行」
さんを紹介します。

薄木さんは、機械系大学を卒業し食品
メーカーの機械の設計に約二十年間従事。

しかし、約一町歩の農業をしていた父親
が体調をくずしたこと、また、四條近辺
の農業も衰退してきたとの思いから、心
機一転、農業に命をかける決意で、この
世界に五年前、四十三歳の時飛び込みま
した。従来は米、麦中心でしたが、それ
にブロッコリー、ニンニク、ミニトマ
ト、トウモロコシなどを加えて多角化、
今現在、米麦2.5町、ブロッコリー、
ニンニク、野菜2町で合計約4.5町に
まで拡大しています。

まだまだ先の農業情勢は不安です。と
言っていますが、将来への自信と夢を
持っています。現在は県普及所、中讃地
区、青年後継者クラブの
役員をし、若手専業農
者のリーダーとしても活
躍しています。



今月の表紙 特集 入園・入学式

今年も満開の桜が春の調べを奏でる季
節を迎え、町内の子ども園、小・中学校
においても、子どもたちの期待と笑顔あ
ふれる入学式が開催されました。
さあ、希望の未来へ。



—長炭小学校—

あとがき

編集委員 川原 茂行

「目には青葉 山ほととぎす 初鰯」と
いわれるいい時節になりました。平成二
十八年度は合併十周年でした。振り返つ
てみると、光ファイバー網の設置、中
学校新築など多彩なハード面の基礎は出
来上がりました。本年度、十一月十九日、
育樹祭もあり、これからも町民各位のご
意見を拝聴
しつつソフ
ト面の充実
に力を傾注
してゆく所
存です。

議会広報特別委員会

委員長	川西 希子
副委員長	白川 皆男
委員	川原 茂行
委員	大西 豊
委員	白川 年男
委員	白川 正樹



リサイクル可能な植物油インキを使用しています。

●この議会だよりは、西国新聞販売株式会社に委託し、町内の全世帯に配布しています。
配布についてのお問い合わせは、まんのう町議会事務局 TEL: (73) 0109 まで